

都市との交流に関する取組

南薩地域振興局 林務水産課

【背景・目的】

南薩地域の森と海の豊かさ、森と海のつながり、森や海を守ることの大切さを再認識してもらい、林業・水産業の担い手の確保・育成に繋げようと、小学生から高校生を対象にしたバスツアーを開催した。ツアーは旅行業者へ業務委託した。

【普及の内容・特徴】

ツアーのターゲットは管内及び都市部の小学生とし、作成した募集チラシは、南薩地域の4市（指宿市、南九州市、枕崎市、南さつま市）と本県内最大の人口を有する鹿児島市の小学校に配布した。実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症（以後、「新型コロナ」という）の感染者数に影響されないようできる限り日程を詰めることとし、出校日（第2土曜日）を避け、運動会などの学校行事や花火大会などの大型イベントとの競合しないよう配慮した。感染への警戒感を和らげるため1回あたりの参加者数もバスの定員の半分に減らし、受託業者には新型コロナ関連の保険加入も義務づけた。訪問先は、南薩地域の林業・水産業の魅力や特色を十分にPRできる施設として、SDGsを意識して、かつお節を製造する過程で排出される残滓を利用して魚油、魚粉、肥料を製造する再資源化処理施設、かつお節を燻す際に使用する薪の製造過程で排出されるチップ等を使って発電する木質バイオマス施設、特産品であるかつおを利用したわら焼き・節削り体験、料理を堪能することができる水産物販売施設とした。バスの運行中は、前年度作成した南薩地域の林業・水産業のPR動画を放映し、自然環境保全に対する意識の醸成を図るなど林業・水産業に対する興味関心の向上に努めた。

【成果・活用】

(1) 実施の概要

夏休み期間中に3日連続で実施する予定であったが、新型コロナの急拡大により日程を延期せざるを得ない状況になったため、10～11月に日程を変更した。この変更により訪問先を変更せざるを得ない状況が生じた（木質バイオマス施設を焼酎工場に変更）。

項目	内容
実施日	10/29(土)、11/19(土)、11/26(土)、時間はいずれも8:30～17:30
参加者	62名/82名（応募者多数により抽選を実施）
訪問先	枕崎水産加工業協同組合再資源化処理施設（魚油等の製造施設見学） 薩摩酒造(株)明治蔵（焼酎工場見学） 枕崎お魚センター（わら焼き体験、節削り体験、茶節試食、昼食、加工品見学） 炭焼きめんどり（ジビエ加工施設見学、ジビエ試食）

(2) 実施の結果と今後の対応

ツアーは好評で、自然を守ることの大切さや林業・水産業の魅力を伝えることに繋がった。来年度も今年同様、新規就業者の確保・育成につながるよう支援していきたい。



図1 借上バス



図2 再資源化処理施設見学



図3 薩摩酒造（株）明治蔵施設見学



図4 かつおわら焼き体験（説明状況）



図5 かつおわら焼き体験（体験中）



図6 節削り体験（説明状況）



図7 削り節体験（体験中）



図8 ジビエ試食